

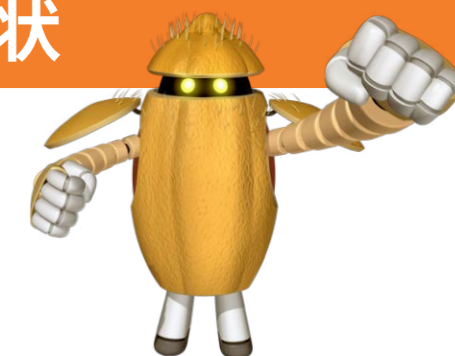
斑点米を阻止! 吸汁性害虫防除のスペシャリスト!

エクシード™フロアブル

Isoclast™ active

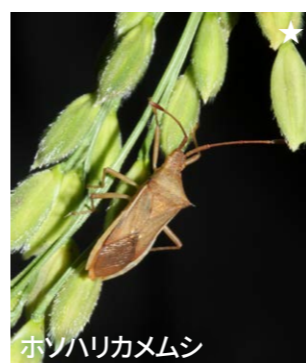
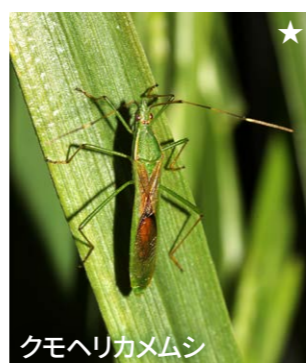
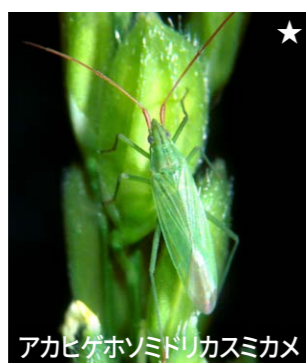
水稲用殺虫剤

エクシード™フロアブル 各種斑点米カメムシへの効果と散布後の症状



- ユニークな作用性を発揮する新規系統の殺虫剤。既存の薬剤に感受性が低下した害虫にも有効です。
- 斑点米カメムシ/ウンカ類に優れた効果を発揮する、唯一のスルホキシイミン系殺虫剤です。

適用害虫(抜粋)



★池田二三高氏撮影

ユニークな作用性「ストレッチ症状」

エクシードフロアブル処理



オオトゲシラホシカメムシ

イネカメムシ

無処理



オオトゲシラホシカメムシ

イネカメムシ

エクシードフロアブルが処理された害虫の多くは、肢が伸び切り、硬直して痙攣する症状が観察されます。これにより吸汁行動を阻害し、斑点米被害の抑制が期待できます。



ストレッチ症状を動画でご覧いただけます。



近年問題になっているイネカメムシ防除については裏面をご覧ください。

近年問題になっている 「イネカメムシ」もしっかり防除!

エクシード™フロアブル

Isoclast™ active

水稲用殺虫剤

エクシード™フロアブル イネカメムシに対する効果と防除タイミング

イネカメムシ防除は2回散布を徹底しましょう!

⇒ポイント①

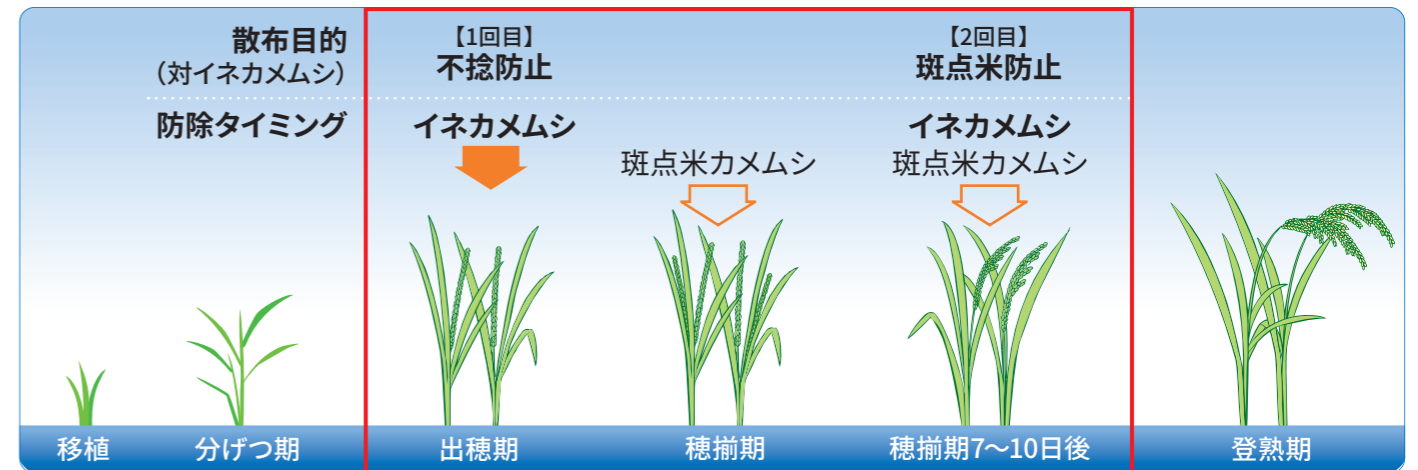
2回防除の内、1回目でエクシードフロアブルの散布を推奨します。

⇒ポイント②

不稔籾防止のため、1回目の散布は、出穂期を逃さないよう注意しましょう。

【イネカメムシの特徴】

- ・体長(成虫12-13mm)
- ・イネを求めて、越冬場所から直接水田に飛来。他の斑点米カメムシと異なり、雑草除去は有効な防除対策ではない。
- ・出穂期に籾の基部を吸汁し、不稔籾を生じさせ減収に直結。
- ・穂揃期以降の加害では、斑点米による等級格下げ要因。



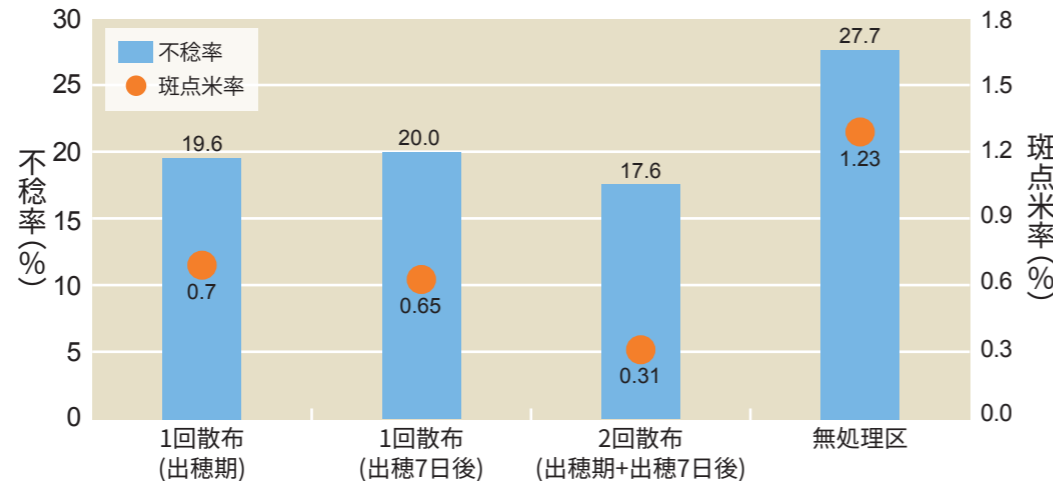
- イネカメムシに薬剤が直接付着することで効果を発揮します。
- イネカメムシは日中、株元に潜んでいることが多いため、株元への到達が葉で邪魔されにくい時期(出穂期)に散布することで薬液が到達しやすくなります。

処理タイミング/散布回数の違いによる不稔及び斑点米率抑制効果

2回散布が最も効果的!



イネカメムシの被害と思われる不稔症状

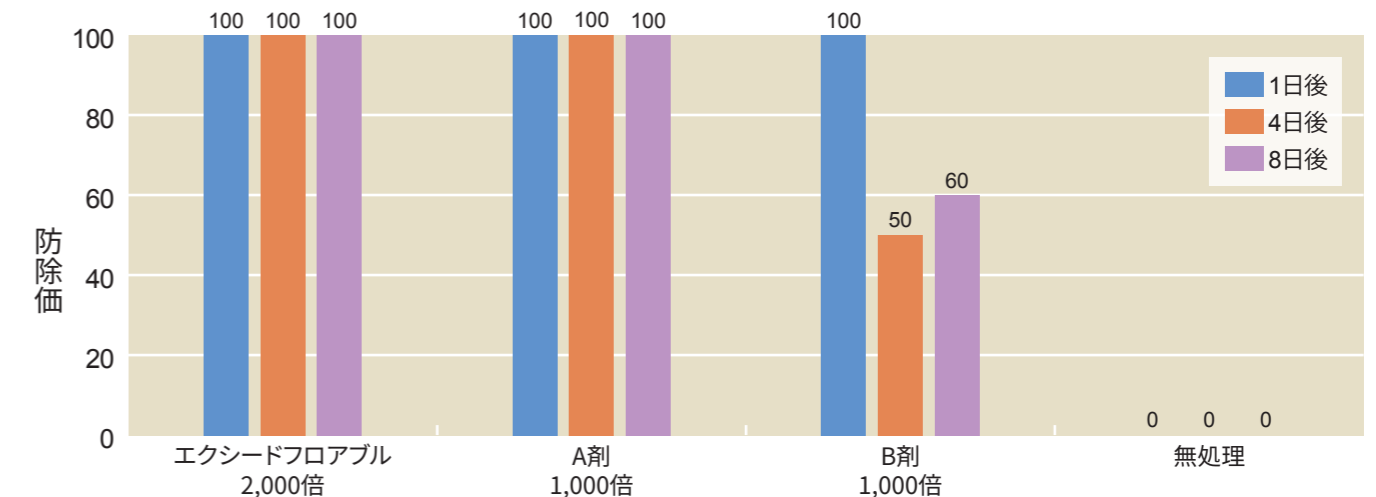


【試験概要】

試験場所: 2023 山口県農林総合技術センター
対象害虫: イネカメムシ(中発生)
品種: 羽二重餅
移植日: 2023年5月26日
試験区構成: 1区45㎡(3.6x12.5m)、2連制、1区2地点調査
処理日: 出穂期(8月18日)、出穂7日後(8月25日)

供試薬剤/希釈倍数: エクシードフロアブル/2,000倍
処理方法: 所定の希釈倍数に希釈し、電動散布機で100ℓ/10a散布した。
調査方法: 不稔籾率; 調査場所ごとに1株1穂で20穂(1区80穂)を採集し計数した。
斑点米率; 調査場所ごとに1株1穂で300穂を採集、玄米を色彩選別機にかけた後、肉眼で基部被害粒を計数した。

イネカメムシに対する効果(虫体浸漬処理)



【試験概要】

試験場所: 北興化学工業(株)開発研究所
供試虫: イネカメムシ成虫(福岡県飯塚市)
試験日程: 処理; 2022年9月15日 調査; 9月16、19、23日
区制: 1区1カップ 2連制 5頭/カップ

試験方法: 供試虫を所定濃度の薬液に10秒間浸漬した。
水切り後、ろ紙を敷き乳熟期の稲穂を入れたプラスチックカップ(200ml)に5頭ずつ入れた。
処理後、経時的に正常、異常、死亡別に計数し、異常+死亡虫率から防除値を算出した。

2024年7月作成